



# 千代田町子ども議会 会議録



平成30年11月6日開催

千代田町議会・千代田町・千代田町教育委員会

# 目 次

1. 千代田町子ども議会の概要 .....	1
2. 議事日程 .....	2
3. 出席議員 .....	3
4. 一般質問 .....	4
➤ 議席番号 1番 3年2組 伊藤一希 議員 .....	4
➤ 議席番号 2番 3年2組 関根柊磨 議員 .....	4
➤ 議席番号 3番 3年2組 川上翔貴 議員 .....	5
➤ 議席番号 4番 3年2組 藤本菜乃花 議員 .....	6
➤ 議席番号 5番 3年2組 宗川岳叶 議員 .....	6
➤ 議席番号 6番 3年1組 亀山友希 議員 .....	7
➤ 議席番号 7番 3年1組 齋藤理来 議員 .....	8
➤ 議席番号 8番 3年1組 小林俊介 議員 .....	9
➤ 議席番号 9番 3年1組 川上陽生 議員 .....	10
➤ 議席番号10番 3年3組 北村希美 議員 .....	10
➤ 議席番号11番 3年3組 羽石円華 議員 .....	12
➤ 議席番号12番 3年3組 村田悠人 議員 .....	12
5. 子ども議員の感想 ～子ども議会を終えて～ .....	14
6. 参考資料(出席者) .....	15

## 1. 千代田町子ども議会の概要

昨年に引き続き、開かれた議会を目指し、また生きた社会科の勉強として、子どもたちの町づくりの考えを行政推進の一助とすることを目的に実施しました。

### ●千代田町子ども議会(平成 30 年 11 月 6 日<火>)

議長に村田悠人議員が、副議長に川上翔貴議員が任命されました。

3 年 3 組 村田悠人議長



3 年 2 組 川上翔貴副議長



千代田中学校 3 年生の中から選ばれた 12 名の子ども議員がそれぞれ一般質問を行い、質問に対し、町長や教育長が答弁を行いました。



## 2. 議事日程

(平成30年 11月 6日〈火〉14時 00分開会)

### ●開会前

子ども議員紹介

出席者紹介

町長あいさつ

千代田町長 高橋 純一(たかはし じゅんいち)

議長あいさつ

千代田町議会議長 高橋 祐二(たかはし ゆうじ)

### ●子ども議会

(1)開会

子ども議会議長 村田 悠人(むらた ゆうと)

(2)一般質問(1番議員～6番議員)

(3)一般質問(7番議員～12番議員)

(4)子ども議長あいさつ

子ども議会議長 村田 悠人(むらた ゆうと)

(5)閉会

子ども議会副議長 川上 翔貴(かわかみ しょうき)

### ●閉会后

副議長講評

千代田町議会副議長 川田 延明(かわた のぶあき)

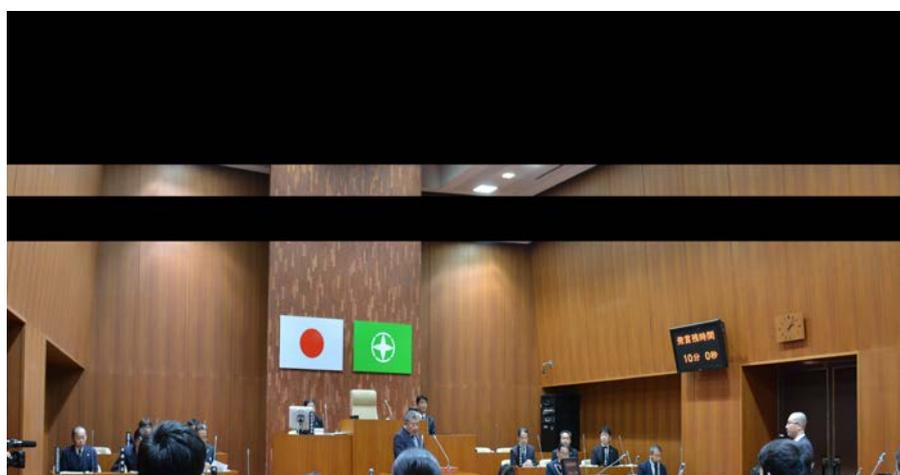
記念品贈呈

写真撮影



### 3. 出席議員

議席番号	クラス	氏名	質問内容
1	2組	伊藤 一希	・千代田町への明るさの導入について
2	2組	関根 柊磨	・利根川の活用方法について
3	2組	川上 翔貴	・街灯について
4	2組	藤本 菜乃花	・利根川について
5	2組	宗川 岳叶	・千代田町の交通網について
6	1組	亀山 友希	・町の飲食店について
7	1組	齋藤 理来	・中学校での雨漏りについて
8	1組	小林 俊介	・フリーWi-Fiについて
9	1組	川上 陽生	・町の安全について
10	3組	北村 希美	・マスコットについて ・千代田町のミサイル対策について
11	3組	羽石 円華	・商業施設と室内の遊び場の設置について
12	3組	村田 悠人	・千代田町のグローバル化が進んでいないことについて



## 4. 一般質問

### ➤議席番号 1番 3年2組 伊藤一希 議員

#### 千代田町への明るさの導入について

千代田町には活気が足りないと思っています。そこで、私は千代田町により明るさをあふれさせる方策を考えてみました。千代田町に住んでいる人や他の市町村から来た人に楽しんでもらえるように二つのことを提案します。一つ目は子ども達や町外の人たちに千代田町のことを知ってもらうために利根川を利用した水族館を設置することです。二つ目は高齢者の方々が暮らしやすい町にするために、町の公共施設の文字を大きくし、看板などを見やすい色にすることです。

#### 答弁

##### 【町長】

ご質問にお答えします。

一つ目の、「利根川を利用した水族館の設置」というご質問であります。本町にとって「利根川」は、歴史ある赤岩渡船が公共交通機関として活躍しているほか、毎年恒例の「川せがき」をはじめ、様々な利用がされております。「水族館」については、水中の自然環境を一定の空間の中で再現するものであり、子どもたちが身近に、地元の自然環境への大切さを学ぶことができる施設であると考えております。しかしながら、一口に「水族館」と言っても、特殊な機能や設備などが備わった施設であり、それを建設するということになると、莫大な費用が必要となります。また、特殊な施設ということもあり、建設後の維持管理についても、同じことが言えると考えております。また、利根川を利用した建物は、河川法という法律があり、大雨や台風で、川の水が増水した時に、安全に水を流すことが第一優先なので、流れの障害となる建物の建設は、難しいと言えます。しかし、河川から離れた箇所に建設することは可能と考えます。ですので、将来を見据えた中で、水族館もよいと考えています。現在、役場内において、「利根川の有効的な活用」というテーマで、プロジェクトチームを編成し、調査・研究などを行っており、別の形で、町をPRできる方法を検討したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

次に、二つ目の「公共施設の文字を大きくし、看板を見やすい色にする。」というご質問ですが、本町で設置している看板(標識)については、道路利用者に対し、規制、警戒、指示をする「道路標識」や道路利用者に行先や目的地を誘導する「案内標識」、特定の利用者に対し、目的施設を誘導する「施設案内板」があります。また、観光客に対し、情報提供を目的とした「観光案内板」や各施設管理者が施設内に名称を表示した「名称板」などがあります。「道路標識」と「案内標識」については、「色・文字・大きさ・設置基準」が、国で、決まっていますので、変更はできません。「施設案内板」、「観光案内板」、「施設の名称板」については、伊藤議員のご提案のとおり「看板の文字を大きく、見やすい色にする」など、一度に全部を直すことは難しいので、耐用年数が来たものから、考えていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

### ➤議席番号 2番 3年2組 関根柊磨 議員

#### 利根川の活用方法について

みなさんは普段の生活の中で、千代田町の人口が少なく、町外から来る人も少ないと感じてはいませんか。私はそこが千代田町の一番の課題だと思っています。そこで何かできないかと考え、千代田町には利根川という誇るべき財産があると思えました。しかし、現在、利根川では1年に数回しかイベントがありません。そこで、私はこの誇るべき自然をもっと有効的に活用できないかと考え、マリンスポーツが思い浮かびました。利根川は流域面積が日本一で場所には困らないのでのびのびとスポーツが楽しめます。しかも、スポーツをしに町外から人も来るので、町に活気があふれると思います。

## 答弁

### 【町長】

本町においては、「利根川」をなくして千代田町を語れないというほど、欠かすことのできないものであると考えております。利根川を利用したイベントを実施することで、町外から多くの方を呼び込むことができ、更に町の活性化にも大きく寄与できるものと考えております。関根議員のおっしゃるとおり、利根川は、東京近郊に水道水や農業用水を供給するため、利根大堰によって堰き止められ、上流の穏やかな水面を活用した「マリンスポーツ」など、多くの方に利用されております。その中で、今年で27回目を迎えた「千代田町レガッタ」では、ご存じのとおり「ナックルフォア」という、5人乗りボートの競技でございますが、町内外から50チーム、約313名の方の参加をいただき実施することができました。

「千代田町レガッタ」については、本町にしかないイベントの一つとして定着し、町外からも多くの方々が参加しており、特に今年度は、初めての試みで、会場の空きスペースを利用し「アウトドアアクティビティ教室」を開催し、カヌーやサップという手漕ぎボートを多くの方々に体験していただきマリンスポーツを楽しんでいただくことができました。本町としては、先ほど、伊藤議員の「水族館の設置」の時にも答弁させていただきましたが、今年度中に「利根川の有効的な活用」というテーマで、プロジェクトチームを編成し、調査・研究など、レガッタ・カヌーなどを充実させて行くとともに、利根川の豊かな自然にふれあうことが出来るよう、水辺の魅力を最大限に引き出し、県内外からも多くの人々が訪れてくれるような施策を協議していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。なお、利根川はマリンスポーツだけでなく、サケの遡上の見学もできます。ぜひ、行ってみてください。ちょうど利根大堰下流になるのですが、国土交通省と相談し自然観測ゾーンというものを設けてあります。皆さんが見たことのないような鳥や生き物が多くいますので、友達と誘ってサイクリング方々行ってみてください。利根川の活用もこれからいろいろと考えていかなければなりませんので、役場内でいろいろと協議をし、利根川を有効活用するためのプロジェクトチームを立ち上げますので、期待をしてください。

## ➤ 議席番号 3番 3年2組 川上翔貴 議員

### 街灯について

最近、夜道や裏路地での事件、事故などのニュースが後を絶ちません。それらの理由は辺りが暗いからだと考えます。農道などでは暗いと前が見えにくく、水路に落ちてしまうことや、道を間違ってしまうかもしれません。また、暗いところでは車や自転車などの衝突事故、誘拐などの危険も伴います。それらを防ぐためにも今以上に多くの街灯を設置する必要があると思います。

## 答弁

### 【町長】

千代田町の街灯は、防犯灯という形で、各行政区の区長さんからの要望を受け設置をしています。主に、電柱に取り付けていますが、電柱がない場所については、柱や電線を新たに設置する必要があると、物理的に設置の難しい場所もありますが、できる限りの対応はさせていただいております。

ご質問のとおり、夜道や裏路地での事件・事故が後を立ちません。暗いことで視界が悪く、危険性が増します。この対策として、防犯灯は役に立ちます。しかし、町内全域にくまなく設置するわけにもいきませんので、人家があるところや危険箇所、通学路を優先に設置しております。農道の場合は、作物への影響を考慮する必要もあり、設置が難しいところもありますので、特に夜間は、道路の端に引いてある、反射する白い線の「外側線」を意識することで、水路等への転落を防止できます。また、交差点では、手前の黄色い警戒標識や止まれの標識、交差点内に引いてある十字路マークが反射しますので、それらを意識することで、追突事故が防げます。

今以上に、街灯を設置するときには、夜間の人通りや車の通りがある場所、通学路であるか、農道の場合には、作物の影響も考慮するなど、よく選定して進めていきたいと思っております。町内を見渡すとこの10年来、明るさも増し

てきていますが、地元区長さんや皆さんの意向を聞きながら優先的に設置する箇所を選別し、設置していきたいと考えていますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。

## ➤ 議席番号 4番 3年2組 藤本菜乃花 議員

### 利根川について

私は今まで生活していて、利根川の水が汚れていることや河川敷にゴミが落ちていることに気がつきました。利根川には水上スポーツをしに来る人がよく見られます。そのような魅力が利根川にはあるのに、川が汚れていると千代田町の魅力がよく伝わらなくなってしまいます。それなので、私は川をきれいにする活動をすることを提案します。例えば、町民で川の掃除をする機会を設けたり、ポイ捨て禁止の決まりを作ることなどです。そうすれば、千代田町の魅力がより伝わると思います。

### 答弁

#### 【町長】

利根川は、県営赤岩渡船を運航しているほか、「千代田の祭 川せがき」や千代田町レガッタなど、川面や河川敷を利用したイベントや、近年では、水上スポーツも盛んになり、町内外を問わず、多くの方々に親しまれております。千代田町の豊かな「水と緑」の象徴であり、貴重な観光資源でもある利根川の環境を守ることは、町としても非常に重要であると認識しております。

ご質問の、川をきれいにする活動ですが、毎年4月には、町と社会福祉協議会の主催による、「河川美化運動」を実施しているほか、7月の「河川愛護月間」に合わせて、利根川を管理する、国土交通省・関東地方整備局・利根川上流河川事務所と連携のもと、「利根川クリーン作戦」をそれぞれ実施しております。毎回、河川利用者をはじめ、地域住民の方々や中学生、小学生等、800名から900名程度のご参加をいただき、河川敷の清掃活動を行っております。また、民間団体の清掃活動も盛んに実施されております。

河川敷のゴミのほとんどは、ポイ捨てや不法投棄によるものであり、河川敷の環境維持には、利用者1人1人のマナーが、何よりも大切であると考えております。

町においても、平成16年に、「ごみのポイ捨て及び犬のふん害の防止に関する条例」を制定し、利根川を含め、町内全域を対象にポイ捨て防止とマナー向上のための取り組みを進めております。

また、利根川を管理している、国土交通省・関東地方整備局・利根川上流河川事務所では、日常的に河川パトロールを実施し、ゴミの不法投棄の抑止や早期発見の対応を行っているほか、ゴミの投棄が多く見られる場所には、看板を設置するなどして、河川美化意識の向上に努めております。

町では、今後も関係機関と連携しながら、引き続き、利根川の美化と環境整備に取り組んでいきますので、是非、藤本議員も4月と7月の河川清掃活動にお友達を誘ってご協力下さいますよう、よろしく願いいたします。9月に利根川に行ったときに、千代田町の辺りでは雨が降っていなかったのですが、上流からたくさんゴミが流れてきていました。そのようなこともありますので、国土交通省とも相談して、河川の美化を進めていきたいと考えています。これからいろいろと相談しながらゴミのない町を作りたいと考えていますので、よろしく申し上げます。

## ➤ 議席番号 5番 3年2組 宗川岳叶 議員

### 千代田町の交通網について

私たち中学生だけで出かける際、鉄道を使いますが、わざわざ川俣駅まで行く必要があります。日曜日だとバスが運休するため、わざわざ親に頼まなくてはなりません。そこで、太田駅から千代田町を通り、千代田町の出している新橋の下を通り熊谷駅までの路線を作してほしいです。鉄道の通っている町は活気があり、鉄道が開通す

れば千代田町の活性化につながると思います。さらに、少子高齢化が進む千代田町の高齢者の移動手段としても利用されるし、千代田町から埼玉県や東京都に通勤、通学する際にわざわざ近くの駅まで車で行くことがなくなることで地球温暖化防止にも役立つと思います。そのため、千代田町に鉄道を通すということを提案します。

## 答弁

### 【町長】

太田駅から千代田町を通り、熊谷駅につながる鉄道路線を作ってもらいたいのご質問であります。千代田町から熊谷駅に鉄道路線を通すには、利根川をまたぐ、新たな橋が必要であると考えます。千代田町では毎年、利根川対岸にある熊谷市などの関係する10市町とともに、群馬県や埼玉県、国に対し、利根川新橋建設に向けた要望を行っております。

そして、市民団体の「利根川新橋を架ける市民の会」の皆さんの活動もあり、群馬県の「はばたけ群馬・県土整備プラン」において、主要事業箇所として、位置づけられました。「利根川新橋の新設」が、平成34年度までの着手予定事業とされたことにより、利根川新橋の建設に向けた動きが一步前進したものと考えております。

また、実現は、現状厳しいかと思いますが、平成29年1月に、群馬県館林土木事務所長に対し、足利から熊谷間の路面電車や新交通システムを利根川新橋建設と合わせて、整備してはどうかとの話もさせていただいております。どちらにしても、県境をまたぐため、熊谷市などとも協議をする必要があり、新橋の建設には莫大な予算と多くの期間が必要となるものでありますので、今後も国を始めとした関係機関への要望を積極的に行っていきたいと思っております。

千代田町の将来にとっても、何としても必要な事業であることから、新橋とそれにつながるアクセス道は実現しておきますので、是非、宗川議員に国会議員となっただき、鉄道を通していただければと思います。この近隣を見渡すと足利市には渡良瀬川が流れています。足利市には渡良瀬川に架かる橋が市内だけで11か所あります。この千代田町は県境をまたいでいるのですが、国道407号から利根大堰まで10kmちょっとあり、その間には橋が一つもありません。ぜひここに橋を作りたいと先輩方からずっと念願となっています。群馬県側では平成34年度までに着手予定となっています。県境をまたぐので埼玉県とも国とも協議をし、ぜひ実現していきたいと考えています。

## ➤ 議席番号 6番 3年1組 亀山友希 議員

### 飲食店について

私は今まで千代田町で生活してきた中で、千代田町には飲食店が少ないと感じました。飲食店があることで住んでいる私たちも楽しくなるし、周りから人が来やすくなると思います。飲食店が増えることによって町にたくさん人が来て、町が豊かになると思います。そこで、千代田町では町内で飲食店を開きやすくなるような工夫をしていますか。

## 答弁

### 【町長】

本町において、町内の飲食店が増えることにより、町の飲食店に関連する産業の活性化や雇用の創出、常住人口や交流人口の増大、町の知名度やイメージの向上など、様々な効果が期待できると考えております。

現在、町内にある飲食店は、ジョイフル本田千代田店2階のフードコート内も含めて、約35店舗、人口に対して約0.31%です。参考に、近隣の西邑楽管内の状況としては、大泉町が157店舗、人口比にして約0.38%で、邑楽町が73店舗、人口比にして約0.28%であり、人口比ベースですと、大泉町の次に千代田町が高い数値と

なっております。

ご質問の「飲食店を開きやすくする工夫」であります、「ふれあいタウンちよだ商業用地」という一部の区域に限られますが、「商業施設立地促進奨励金」という制度があり、開業して5年間の固定資産税などに相当する額を奨励金として交付することにより、開業などに係る費用の支援をしております。

また、「雇用促進奨励金」という制度もあり、新規雇用した方を、営業開始日から1年以上、継続して雇用した場合、奨励金を交付しております。更に、町内に地元の事業者や工業者の身近な相談や支援をする機関で「商工会」があります。そこでは、飲食店の開業に必要な、手続きや書類の作成などを指導・助言を行うとともに、様々な課題などの相談に応じております。

町では、ジョイフル本田千代田店の西側に商業用地を整備しましたが、現在、更に地域の発展、及び町民生活の利便性の向上を目的に、現在、誘致に向けてPRなどを行っているところであります。

町といたしましては、この商業用地も含めて、更に飲食店が増えるよう、町のPRや誘致活動を積極的に進めていきたいと思っております。よくあることで、皆さんも聞くとありますが、町づくり支援隊という国の制度があります。町づくりに協力しながら家族ともども3年間町に住むというものです。このようないろいろな制度があります。そのような制度を活用しながら、千代田町も町づくりを行っていきたくて考えていますので、よろしくお願ひいたします。

## ➤ 議席番号 7番 3年1組 齋藤理来 議員

### 中学校での雨漏りについて

今まで千代田町で生活してきて、中学校で雨漏りをしているという問題を見つけました。未来の千代田町を担うであろう私たちが学ぶ場所で雨漏りをしているということは大変なことだと思います。雨の日になると廊下にバケツがいくつも置かれています。そこで、校内の雨漏りの箇所を直すということを提案します。特に中学校二階の廊下の雨漏りが激しいと思ったので、主にそこを直してもらいたいと思います。雨漏りを直せば雨が降るたびにバケツを置くという無駄な労力を使うことがなくなり、不快な思いをする人も少なくなると思うからです。

### 答弁

#### 【教育長】

本町の学校施設は、小・中学校で3校ありますが、一番新しい校舎においても、建築されてから30年以上が経過しております。特に中学校の校舎につきましては、昭和43年に完成後、50年が経過しており、その間、耐震補強を含む、大規模な改修工事や様々な修繕工事を実施してまいりました。

今回ご質問いただきました、「雨漏り」については、過去の工事实績を確認したところ、平成20年度以降、2年、3年に1度のペースで、屋上の防水改修工事を実施しており、合計で約2,000万円の費用をかけております。

最近では、平成28年度から今年度にわたり、3年連続で補修を行っております。

雨漏りというと、屋上に穴が開いていて、雨が降ると、その穴から雨水が侵入して、その下の天井から漏れ出すということを想像するかと思います。しかし、学校の校舎のように規模の大きな建物の場合は、屋上から雨水が侵入することはもちろんですが、外壁のひびや窓枠などからも雨水が校舎内の見えない場所に入り込み、中の鉄骨を伝って、予想もできないような場所から雨漏りが発生することもあります。また、ゲリラ豪雨や台風等では雨漏りが発生せず、普通の雨で発生するといった場合もありますので、雨漏りの原因となっている場所を特定することは、非常に難しいと言えます。

そのため、雨漏りが発生した場合、中学校の先生から教育委員会に連絡が来ることになっており、連絡を受けるとすぐに、教育委員会の職員が現地を調査し、その後、業者に補修を依頼します。今年度も、屋上に開いた穴を防水シートで補修しました。その結果、以前よりも雨漏りが少なくなったと聞いておりますが、全て解消されたわけではございません。

中学校の生徒の皆さんには、とても不快な思いをさせてしまっておりますが、今後も学校の先生と連携を図りな

から、雨漏りゼロを目指して補修工事を実施していきたいと思っておりますので、ぜひご理解のほどよろしくお願ひいたします。

## ➤議席番号 8番 3年1組 小林俊介 議員

### ①フリーWi-Fiについて

今まで生活してきて、千代田町のグローバル化、情報へのおくれを感じるがありました。今、世界、そして日本では生活する上でインターネットやSNS等の利用は欠かせなくなってきました。そこで私は千代田町の公共施設、町民プラザなどへのフリーWi-Fiの設置を提案します。公共施設にフリーWi-Fiを設置することは生活を便利にするだけではなく人と人の交流を増やすことにもつながると思います。例えば町民プラザに設置した場合、今まで利用の少なかった20代や30代の利用者も増え、異なる年代での交流を生み出すことができるのではないのでしょうか。このように、公共施設へのフリーWi-Fiの設置は様々な面で千代田町に良い効果をもたらすと思います。

### 答弁

#### 【町長】

公共施設へのフリーWi-Fiの設置のご質問であります。

国(総務省)においても、2020年に向けたWi-Fi環境の整備を進めており、市町村への支援を行っているところであります。その支援内容ですが、防災の観点から、避難所や避難場所といった防災拠点を中心に公衆無線LAN、いわゆるWi-Fi環境の整備に対する支援を行うというものであります。千代田町においても、役場や町民プラザ、総合体育館、中学校、小学校など避難所や避難場所となっており、これらを中心として、Wi-Fi環境の整備を行っていきたくと考えております。

来年、平成31年度には、Wi-Fi環境の整備に関する調査・研究を行い、その結果を踏まえて、再来年、平成32年度以降に、Wi-Fi環境の整備に取り組んでいければと考えております。小林議員がおっしゃったようにグローバル化を進めていくながら、日本の伝統や文化を大切にしていくなが必要があると思います。

参考までですが、ケーブルテレビの地域BWAという、「広帯域無線アクセス」を利用した、避難所などへのWi-Fi環境の整備を検討しています。平成30年度中に、役場屋上にアンテナを設置。ケーブルテレビが設置し、役場費用負担はありません。電波発信をすることで、半径2km以内の施設にWi-Fiスポットを設置することにより、Wi-Fi環境の整備が可能となります。

平成31年度は、貸与されている、Wi-Fiスポット(持ち運び・移動可)を避難所や避難場所に設置をして、電波状況等を確認し、必要性等を検討していくことが必要かと思っております。いろいろな部分でケーブルテレビを含めた他の業者を含めた中で、様々なことを総務省も協力していくということですので、千代田町も来年度、再来年度に向けて検討を進めています。

### 再質問

小林議員：平成32年度には避難所にWi-Fiを設置されるとのことですが、費用はどのくらいかかるのですか。

高橋町長：費用はほとんどかからない状況となっております。いろいろなシステムがありますが、例えばケーブルテレビが設置する場合、ほとんど費用は掛かりません。貸与と言って機械を貸し出して、それをわれわれが活用していくということになります。皆さんから預かった大切な税金ですので、費用はほとんどかからないような方法でやっていければと考えています。

## ➤ 議席番号 9番 3年1組 川上陽生 議員

### 町の安全について

千代田町に今まで住んできて、危ない事件がたくさん起きています。千代田町には駐在所が少なく、あまり安全ではないと思います。全国的にも事件が増えています。私が知っている限り、町には駐在所が二つしかありません。駐在所の数が少ないといざという時の安全性が低くなってしまうのではないかと考えました。このようなことから町民みんなが安全に過ごすことができるよう、駐在所の数を増やすべきだと考えます。

### 答弁

#### 【町長】

ご質問にお答えします。これまでに、町内でも、不審者の出没、空き巣・振り込め詐欺などの被害が発生しています。町内には、現在、赤岩、上五箇の2つの駐在所があります。駐在所が少ないのではとのご質問ですが、駐在所の設置については、国の機関である、警察庁で定めている、「地域警察運営規則」の第15条に設置基準が定められております。これによりますと、昼夜の人口、世帯数、面積、行政区画、及び事件、又は事故の発生の状況等の治安情勢に応じて、所管区ごとに設置する、とあり、駐在所の設置をしているのは、群馬県警察です。そして、管理・管轄しているのは、大泉警察署です。この大泉警察署の管轄内には、千代田町のほかに、邑楽町、大泉町があります。

なお、各町の人口と、駐在所等の数ですが、千代田町は、人口約11,500人で駐在所が2つあり、邑楽町は、人口約26,700人で中野・石打・篠塚に3つの駐在所があります。また、大泉町は、人口約41,800人ですが、駐在所は無く、代わりに、西小泉駅前交番・いずみ交番(パナソニック西南)の2つの交番があります。人口あたりに換算すると、千代田町が5,750人に1箇所、邑楽町が8,900人に1箇所、大泉町が20,900人に1箇所であり、千代田町は、決して少なくはない状況かと思えます。

このように見ますと、大泉警察署が管内3町の中心部にあり、駐在所や交番が、警察署から少し離れた地域を見守っており、バランスが偏ることなく、駐在所等が配置されていることとなります。また、皆さんをはじめ、多くの町民の皆さんに不審者などの監視をしてもらえれば、細かな場所まで目が届くようになります。そのうえで、怪しい場面を見かけたときには、警察署に通報してもらえれば、一番近い場所にいる警察官に情報が入り、すぐに現場に向かうことができます。

町の安全安心は、警察署、駐在所、交番、そして地域住民の監視の目による連携によって、犯罪者が入ってこられない環境を作り、守っていくことが大変重要であります。このように、駐在所の設置につきましては、設置基準に基づき、設置されているということをご理解いただきたいと思います。

川上議員も、もし怪しい場面を見かけたら、決して無理はせず、親や先生、行政等に話すなどして、警察への通報をお願いいたします。

参考に駐在所と交番の違いですが、駐在所は、そこで生活しながら、基本的に日中に勤務します。交番は、出勤してきて複数の警官が、24時間体制で勤務するようになっています。

平成28年度の大泉警察署管内の人口比率に対する犯罪件数は決して少なくない件数でした。そこで、大泉警察署と相談しながら、犯罪を減らしていこうと策を講じて改善し、現在の犯罪件数は県内35市町村真ん中に位置しています。

## ➤ 議席番号10番 3年3組 北村希美 議員

### ① マスコットについて

最近になり、千代田町のマスコットキャラクターを目にする機会が多くなりました。しかし、それらの費用が多くかかっていることも耳にしました。マスコットキャラクターがいることは町の活性化につながりますが、今後、マスコットキ

キャラクターをどのようにPRしていく計画であるかを知りたいです。

## ②千代田町のミサイル対策について

以前、北朝鮮のミサイルの発射実験があり、千代田町のミサイル対策に対して、疑問を持ちました。千代田町では避難場所など、ミサイル対策がどのようになっていますか。

### 答弁

#### 【町長】

本町のマスコットキャラクター、「みどりちゃん」は、平成23年9月18日の伊勢崎市で行われたイベント、「ぐんまのグルメ大集合」でお披露目をされ、以降、町のイベントを中心として、千代田町のPR活動を行っております。「みどりちゃん」活動については、町職員が対応する場合と、貸し出しで対応する場合があります。活動については特別な費用はかかっておらず、年に1回、メンテナンスのため、クリーニングを行っており、その費用がおよそ3万円ほどかかっているくらいです。

今後のPRについてですが、これまで通り、町のイベントを中心として、群馬テレビ「JoYnt!」の出演や、ケーブルテレビ、近隣のイベント出演など、千代田町のPR活動を行うとともに、みどりちゃんグッズの販売等を通じて、町内外へのPR活動をしていきたいと考えております。ぜひ中学生のみなさんもみどりちゃんを活用してもらえればと思います。ゆるキャラブームも一段落してきているところではありますが、千代田町の魅力発信のために、「みどりちゃん」、そしてもう一人、千代田町植木の里マスコットキャラクターである「樹里ちゃん」もおりますので、一緒に活躍してもらいたいと考えております。末永く皆さんにかわいがってもらえればと思います。

町のミサイルへの対策については、国の指示のもと、対応をとっております。北朝鮮がミサイルを発射した場合、10分以内に着弾するとされています。国が、ミサイルの発射を確認し次第、Jアラートによる一斉放送やテレビ放送、携帯電話などには、緊急エリアメールが送信されます。このたった数分間の間に、できる限り身の安全を確保するわけですが、そのための行動といたしましては、屋外にいる場合は、近くの、できるだけ頑丈な建物の中か、地下があれば、そこに避難すること。また、近くに建物がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。屋内にいる場合は、窓から離れるか、窓のない部屋に移動すること。これが、国から示されている対応策であり、本町でもこれに基づき対応をしているものであります。

昨年11月に、町内で弾道ミサイル発射を想定した避難行動訓練を行いました。町内全域にミサイル発射の放送を流して、自主的な、町民の避難訓練を行ったほか、町内事業所にも、避難訓練の実施を促しました。また、役場をはじめとした、公共施設でも避難訓練を行いました。その中で、中学生にも避難訓練をお願いしたわけであり。中学校の避難訓練の内容としては、ミサイル発射の連絡が入り、体育館へ逃げてミサイルが通過するまで、避難姿勢をとるものでした。なぜ体育館に避難したのかですが、教室等より窓ガラスが遠く、建物も頑丈で、ミサイル着弾までに全員の避難が完了できるからであります。しかし、防災行政無線の音量がしぼられていたため、聞きにくく、訓練をしにくいものとなってしまったとのことでした。

現在、北朝鮮のミサイル問題は、アメリカのトランプ大統領との会談で、解決の方向へ向かいつつありますが、今後、再びミサイル発射というような状況となってしまった場合には、「自分の身は自分で守る」ことが求められます。普段から、安全な場所を意識し、また、数分間に着弾してしまうということから、とっさの時でも、あわてずに冷静な行動が取れるようにしておいていただくようお願いいたします。

### 再質問

北村議員：現在、千代田町にはマスコットキャラクターが二体ありますが、私はみどりちゃんだけでもいいのではないかと思います。樹里ちゃんの費用はいくらくらいかかっているのですか。その費用をほかのことに使えるのではないのでしょうか。

高橋町長：樹里ちゃんにかかる費用もみどりちゃんと同じでクリーニング代のおよそ3万円がかかっています。貸し出したときに借りる費用はいりませんが、クリーニングをして返却していただきたいという場合もあります。その

費用を別の部分にという意見ももっともなことですが、小さなお子さんたちにも人気がありますので、ご理解のほどよろしくお願ひします。

## ➤議席番号11番 3年3組 羽石円華 議員

### 商業施設と室内の遊び場の設置について

現在の千代田町には商業施設と室内の遊び場が少ないように感じています。これらの施設が増えることで様々な年代の人々を町に呼び集めることができ、千代田町の活性化や町民の基礎体力の向上につながると思います。また、情報化が進んでいる今、インターネットやSNSを通して町の施設を紹介していく人が多くなることで千代田町の良さをたくさんの方に知ってもらえる機会になるのではないのでしょうか。今後の千代田町がより豊かににぎやかで暮らしやすくなるために、商業施設と室内の遊び場を建設してほしいです。

### 答弁

#### 【町長】

千代田町の商業施設は、役場周辺に小規模な店舗が集まっているエリアと、「ふれあいタウンちよだ」住宅団地内のジョイフル本田千代田店を中心に集まっている店舗が、主なものとなっております。役場周辺の店舗については、西部地区にお住まいの皆さんの日常的な買い物需要に応える、重要な店舗として、今後も維持すると共に、町の商工会と連携し、更なる活性化を図っていくことも重要と考えております。

「ふれあいタウンちよだ」については、造成工事が完了した、新たな商業用地に出店していただける事業者さんを募集しているところでありますが、町としては東部地区にお住まいの皆さんの買い物需要はもちろん、埼玉県や栃木県なども含めた、近隣市町からの来客も見据えた商業地区として、今後も整備していければと考えております。また、「室内の遊び場」については、屋内型の遊技施設「ラウンドワン系」を想定されてのご質問と捉えて、回答させていただきますが、新たな商業用地への出店業種の一つとして、検討していければと考えております。

なお、SNSを通じた、町の施設紹介について、現在、町が行っているものとして、facebookを活用した、「みどりちゃんチャンネル」による、観光や地域情報の配信と、町民プラザによる、イベント情報の紹介がありますので、商業施設等の紹介についての配信も今後、検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

近い将来、ジョイフル本田西側の商業用地の出店業者が決まりましたら、町のほうからも「ラウンドワン系」の施設の要望をしていきたいと考えています。町のバランスをよく考え、商工会等とも相談しながら検討していきたいと思ひます。

## ➤議席番号12番 3年3組 村田悠人 議員

### 千代田町のグローバル化が進んでいないことについて

東京オリンピックが二年後に迫り、外国からの観光客が増え、首都圏はグローバル化が進んでいます。一方、千代田町はグローバル化が進んでいないように見えます。例えば、川せがきに有名な方を招待したり、インターネットなどを使い外国の方向けにPRしたりすることで、外国からの観光客を増やすことができると思ひます。しかし、外国からの観光客が増えたとしても千代田町には英語を話せる人が少ないのです。私は千代田町に外国の方々を招待し、交流会を開いたり、英語の教育水準を高めたりして、より英語が話せる人を増やし国際化を進めるべきだと思ひます。そうすれば、千代田町の活性化も図れると思ひます。町民全体で千代田町のグローバル化を進めるということをご提案します。

## 答弁

### 【町長】

2020年、東京オリンピック・パラリンピックに向け、国内では、さまざまな取り組みがなされています。「おもてなし」のキャッチコピーで、日本ならではの「安全性の高さ」や「丁寧な対応力」が、世界各国から注目を集めました。今年のサッカー、ロシアワールドカップにおいても、サポーターが、試合終了後に観客席のゴミ拾いをする姿や、代表選手のロッカールームを掃除して、感謝の手紙が添えてあったなど、日本人ならではの精神が、高い称賛を受けました。

さて、多くの外国人観光客を迎えるためには、コミュニケーションツールとして、英語力も必要と考えます。本町では、小さい頃から英語に親しんでもらえるよう、保育園・幼稚園や小中学校にも外国語指導助手(ALT)を配置しています。また、小学校の英語教育特例校の指定や、中学生対象の英検受験料全額補助など、語学力向上のための事業も実施しております。今後は、町民英会話教室や町内外国籍の方々との交流会など様々な施策を検討し、本町のグローバル化を進めていきたいと考えています。

また、合わせて情報化社会のツールを有効に利用していくことで、「川せがき」などのイベントを通じて、町全体の国際化を進めていければと考えております。今年は休日の開催だった「川せがき」では5万人ちょっとの来場者があったと聞いています。先ほどの小林議員の質問にもありましたが、情報面でのグローバル化、例えばフリーWi-Fiの設置などにより、外国からの観光客が来たときにも、利用できるような環境を整えることも重要であると考えております。

一方で、グローバル化は、メリットばかりでなく、デメリットもあります。国内産業の空洞化や雇用の損失、多様な文化の衝突などがあげられます。英語力も、もちろん必要ですが、最も必要なのは私たちの「心」だと思います。実際に外国人観光客をもてなすのは、“人”です。おもてなしの心を醸成していくとともに、日本文化の良いところは残しつつ、異なる文化、ものの考え方などに対応できる「柔軟性」と「コミュニケーション能力」を育てていきたいと考えています。

## 5. 子ども議員の感想 ～子ども議会を終えて～



みなさん  
お疲れ様でした！

### **\*議席番号 1番 伊藤一希 議員\***

僕はとても貴重な体験をすることができ、誇りに思っています。町をよりよくするために、町内の人たちが住みやすい町にするためにできる限りのことはしていきたいと思っています。この度は、本当にありがとうございました。

### **\*議席番号 7番 齋藤理来 議員\***

貴重な体験をさせていただきました。自分の番になると緊張しましたが、良い経験になりました。ありがとうございました。

### **\*議席番号 2番 関根柊磨 議員\***

僕は、子ども議会に参加して本物の議会に参加している気分でした。みんなが意見を発言し、町長さんが返答してとても緊張感があったけど、今までに経験したことのない貴重な経験ができました。議員の仕事に興味を持ちました。

### **\*議席番号 8番 小林俊介 議員\***

とても緊張しましたが、貴重な体験ができて、ありがとうございました。自分の意見がきちんと言え気がしました。これからも受験においてしっかりと勉強していきたいと思いました。本日は、本当にありがとうございました。

### **\*議席番号 3番 川上翔貴 議員\***

とても楽しかったです。今回は、子ども議員として参加させていただきありがとうございました。普段は入ることができない議場にも入る事ができ、とても緊張しました。議員さんには、よりよい千代田町にしてほしいです。

### **\*議席番号 9番 川上陽生 議員\***

慣れないことで、とても大変でしたが、とても貴重な体験をさせていただき、とても良かったです。私たちの質問には、法律やこれからのことまで、とても細かく回答していただき再質問などでできませんでした。とても良かったです。

### **\*議席番号 4番 藤本菜乃花 議員\***

この度は子ども議会という貴重な体験をさせていただきありがとうございました。千代田町には他の地域に誇れる所がたくさんあり、とてもよい町であるが、改善すべき点もまだあると感じました。これからも勉強頑張ります。

### **\*議席番号 10番 北村希美 議員\***

今回はこのような体験をさせていただき本当にありがとうございました。千代田町の議会の仕組みなどさまざまなことを知ることができて良かったです。これからも、千代田町が良くなるように頑張ってください。

### **\*議席番号 5番 宗川岳叶 議員\***

私は、子ども議会を通して大切なことを学びました。それは、議会があることの大切さです。もし議会がなかったら、町民の意見が町に聞いてもらえなくなるからです。子ども議会という貴重な体験ができてよかったです。

### **\*議席番号 11番 羽石円華 議員\***

今回はこのような体験を通して、たくさんの事を学びました。一番印象に残っているのは千代田町について一生懸命考えている議会の方々です。とても格好良く見えました。そしてこれからもより良い町を目指して頑張ってください。

### **\*議席番号 6番 亀山友希 議員\***

普段ではなかなか入ることができない議場でとても貴重な体験をすることが出来て本当によかったです。とても緊張していたが、町長さんや議員さんが話しかけてくれたので、少し緊張がほぐれてよかったです。

### **\*議席番号 12番 村田悠人 議員\***

僕は、初めて千代田町の議会の会場を見たり、体験することができました。さらに議長を務めさせてもらい、とても思い出に残る良い経験になりました。これからの生活で、議会で学んだことを活かしていきたいです。

## 6. 参考資料(出席者)

町長  
副町長  
教育長  
総務課長  
財務課長  
住民福祉課長  
健康子ども課  
環境下水道課長  
経済課長兼農業委員会事務局長  
都市整備課長  
会計管理者兼会計課長  
教育委員会事務局長  
議会事務局長  
書記  
書記

高橋 純一  
坂本 道夫  
岡田 哲  
石橋 俊昭  
柿沼 孝明  
森 茂人  
茂木 久史  
栗原 弘明  
荒井 稔  
荻野 俊行  
小暮 秀樹  
宗川 正樹  
田村 恵子  
荒井 美香  
久保田 新一

### ～千代田町議会～

議長  
副議長  
議員  
議員  
議員  
議員  
議員  
議員  
議員  
議員  
議員  
議員

高橋 祐二  
川田 延明  
青木 國生  
細田 芳雄  
柿沼 英己  
小林 正明  
襟川 仁志  
森 雅哉  
大谷 純一  
橋本 和之  
酒卷 広明  
大澤 成樹





町の木 モクセイ



町の花 キク

平成 30 年 千代田町子ども議会 会議録

発行 千代田町議会事務局  
〒370-0598 千代田町大字赤岩 1895-1  
TEL:0276-86-2111(代表)